

令和元年（2019年）度 第3回 大阪府立西成高等学校 学校運営協議会 記録

【日 時】令和2年（2020年）2月1日（土）13：00～15：00

【場 所】大阪府教育センター 会議室

【出席者】（会長）西田芳正委員・（副会長）高見一夫委員・赤坂寛臣委員・榎井縁委員・田中俊英委員
寺嶋公典委員・堂上勝己委員・林美香委員

【内 容】

1. 校長挨拶

2. 報告

○ 本年度の西成高校 学校運営の状況報告

① 44期生進路状況について

② 令和2年度 ロードマップについて

③ ロードマップ運営委員会 1・2学期の振り返り（まとめ）

④ 「働き方を見直してみませんか？」西成高校ラインケアプロジェクト 2019 現場チーム報告

3. 議事

○ 「令和元年度 学校経営計画及び学校評価」 及び「令和2年度 学校経営計画及び学校評価（案）」について

① 令和元年度 学校教育自己診断アンケート集計結果（生徒・保護者・教職員）

② 「令和元年度 学校経営計画及び学校評価」 及び「令和2年度 学校経営計画及び学校評価（案）」について

4. 閉会の挨拶

※ 終了後、大阪府教育センター 大ホールで「人権文化発表交流会」を見学

【各委員からの主な意見等】

- ・ 時間外労働時間を減らすためには、課題を短くするための項目を洗い出して、例えば、ある生徒に対する対処の仕方で悩んでいるときには、専門家の意見をもらおうとその時間が短縮されるなど、外部人材の力を借りたり、仲間の先生方で仕事の分担をしたりすることが、解決の糸口になったりすると思う。
- ・ 2年生のギャップや停滞というのは、個人的にはすごく分かる。1年の総合学習で講師をしたが、生徒は対社会とか対人関係などについて真剣に考えている様子がかがえた。アンケートで「自分が大人になる瞬間を考えるとありますか？」など、ちょっと工夫した質問をすることで、高2を逆にポジティブに受けて生徒たちの良さを引き出せるのではないかと。
- ・ 1月29日（水）の社長講話で、2年生のキャリアの授業を担当した。何年か継続してやっているが、これまでにないぐらい興味を持って話を聞いてもらえた。ぐーと集中力があるというか、学校全体の雰囲気が良い方向に変わってきている気がする。
- ・ ここ3～4年で様々な取組みに成果が出始めていると思う。これを一個の成果として、内部で報告書としてまとめてみてはどうだろうか。多くの学校でも参考になると思うし、先生方がよその学校に転勤された時とかにも、それがすごく参考になっていくのではないかと。
- ・ 社長講話の前の時間を使って全クラスで丁寧な事前学習をされていた。1・2年生の段階から意識的な取り組みで、具体的に先生方の中でされてきたノウハウを言語化して残していくということ、継承していくということが大切であると思う。
- ・ 西成高校は、地域のいろんな方々をうまく巻き込んで、力をより発揮しているというのがすごいことだなあと思っている。私は研究者として、アンケート結果の分析、働き方改革の先生方へのインタビューの切り口ややり方など、そういう面での力の発揮の仕方ができると思った。
- ・ 外国にルーツがある子どもと福祉の問題について研究をしているが、専門としてはそのあたりのことをもう少し西成高校とつながりながらやっていきたい。
- ・ 働き方改革で生野医師からのアドバイスで「学校内にオアシス的な場所を作ろう」とあったが、是非、先生たちにとってのオアシスを作ってほしいなあと思った。

【次年度の予定】

○第1回：6月20日（土） ○第2回：10月17日（土） ○第3回：2月6日（土）